

# 広島県感染症発生動向月報

[ 広島県感染症予防研究調査会 ]  
( 平成 30 年 4 月解析分 )

## 1 今月のトピックス

### (1) 海外で注意すべき感染症について

ゴールデンウィークには海外へ渡航される方が多くなります。  
海外滞在中に感染症にかかることなく、安全で快適に旅行し、帰国することができるように、海外で注意すべき感染症及びその予防対策をお知らせします。

主な感染源	主な感染症	主な発生地域	主な症状	予防接種	予防策
食べ物 水	E型肝炎	世界各地	発熱, 倦怠感, 黄疸		十分火の通った食べ物を食べる 生水は飲まないようにする
	A型肝炎	発展途上国地域	発熱, 倦怠感, 黄疸	○	
	赤痢		発熱, 下痢, 腹痛		
	腸チフス		持続する高熱, 下痢, 倦怠感		
	コレラ		大量の水様便, 嘔吐, 脱水症状		
蚊	マラリア	熱帯	周期的高熱, 悪寒, 冷汗	予防薬	虫除け剤の使用 長袖・長ズボンの着用
	デング熱	亜熱帯地域	高熱, 筋肉・関節痛, 発疹, 目の痛み		
	日本脳炎	アジア	高熱, 昏睡, 意識障害, 頭痛	○	
	黄熱	アフリカ 南アメリカ	高熱, 頭痛, 筋肉痛, 悪寒, 嘔吐	○	
	ウエストナイル熱	北アメリカ アフリカ 中東アジア	発熱, 頭痛, 筋肉痛, 倦怠感		
	チクングニア熱	東南アジア 南アジア アフリカ	高熱, 頭痛, 筋肉・関節痛, 倦怠感, 発疹, 関節腫脹		
	ジカウイルス 感染症	アフリカ 中央・南アメリカ アジア太平洋地域	軽度の発熱, 発疹, 結膜炎, 筋肉・関節痛, 倦怠感, 頭痛		
動物	狂犬病	世界各地	発熱, 治癒した受傷部の痛み, 知覚過敏, 怖水・怖風症状	○	むやみに動物に触らない 犬等の咬傷を受傷後の予防注射
	鳥インフル エンザ	東南アジア	発熱, 呼吸器症状		鳥類との接触を避ける 手洗い, うがいの励行

### (2) 日本脳炎について

昨年, 本県では 10 年ぶり (平成 18 年以来) に, 日本脳炎の患者が発生しました。

日本脳炎は, 蚊 (主にコガタアカイエカ) が媒介する感染症です。  
これからの蚊の活動期に向けて, 感染予防に心がけましょう。

#### 【蚊に刺されないようにしましょう】

- コガタアカイエカの活動時間帯 (夜間) の外出を避ける。
- 戸外では, 皮膚の露出を避ける, 虫除けスプレー等を活用する。
- 蚊が屋内に侵入しないように網戸, 蚊取り線香等を使用する。

#### 【ワクチンを接種しましょう】

- 予防接種により, 日本脳炎の罹患リスクを減らすことができます。
- 定期予防接種の標準的な期間は, 3 歳で 2 回, 4 歳及び 9 歳で各 1 回です。
- 平成 7 年 4 月 2 日から平成 21 年 10 月 1 日に生まれた方については, 予防接種を受ける機会を逃していることがあります。詳しくは, お住まいの市町の予防接種担当課にお問合せください。



コガタアカイエカ  
(提供元「国立感染症研究所」)



## 2 疾患別定点情報 【速報値】

### (1) 定点把握(週報)五類感染症

平成30年3月分(平成30年3月5日～平成30年4月1日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	2,973	6.46	9.71	↓	10	ヘルパンギーナ	7	0.02	0.02	
2	RSウイルス感染症	108	0.38	0.28	→	11	流行性耳下腺炎	24	0.08	0.43	↗
3	咽頭結膜熱	101	0.35	0.51	↗	12	急性出血性結膜炎	2	0.03	0.01	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	622	2.16	2.04	↘	13	流行性角結膜炎	51	0.67	0.51	↗
5	感染性胃腸炎	2,667	9.26	7.18	↗	14	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
6	水痘	47	0.16	0.50	→	15	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.02	
7	手足口病	18	0.06	0.15	↘	16	マイコプラズマ肺炎	3	0.04	0.11	
8	伝染性紅斑	2	0.01	0.15		17	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	93	0.32	0.38	↗	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	130	1.57	—	↗

### (2) 定点把握(月報)五類感染症

平成30年3月分(3月1日～3月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	46	2.19	2.12	→	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	74	3.52	4.30	→
20	性器ヘルペスウイルス感染症	17	0.81	0.74	↗	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	6	0.29	0.57	
21	尖圭コンジローマ	11	0.52	0.62	↗	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0.05	0.07	
22	淋菌感染症	15	0.71	0.81	↘						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年10月14日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

※百日咳は平成30年1月1日より全数報告に変更になりました。

#### 発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

#### 急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)

- 急増疾患 なし
- 急減疾患 インフルエンザ (24.49 → 6.46)

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患,月報対象7疾患)について、県内176の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～11	12, 13	19～22	14～18, 23～25	
定点数	43	72	19	21	21	176

## 3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	44	結核(44)[西部保健所(5), 東部保健所(7), 広島市保健所(19), 呉市保健所(4), 福山市保健所(9)]
三類	2	腸チフス(1)[広島市保健所(1)], 腸管出血性大腸菌感染症(1)[西部保健所(1)]
四類	3	レジオネラ症(3)[西部保健所(1), 広島市保健所(1), 福山市保健所(1)]
五類全数	46	アメーバ赤痢(4)[西部保健所(1), 広島市保健所(3)], カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(9)[西部保健所(1), 西部東保健所(1), 東部保健所(1), 北部保健所(1), 呉市保健所(4), 福山市保健所(1)], クロイツフェルト・ヤコブ病(1)[広島市保健所(1)], 急性脳炎(3)[広島市保健所(1), 呉市保健所(1), 福山市保健所(1)], 後天性免疫不全症候群(1)[広島市保健所(1)], 侵襲性肺炎球菌感染症(4)[広島市保健所(3), 福山市保健所(1)], 梅毒(12)[北部保健所(1), 広島市保健所(7), 呉市保健所(2), 福山市保健所(2)], 百日咳(12)[西部東保健所(1), 広島市保健所(2), 呉市保健所(3), 福山市保健所(6)]